



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 岩本 淳一

2017 春季生活闘争地区総決起集会を開催

デフレから脱却し、経済の好循環の歯車を力強く回していくための
春闘。 そのために経営者の強いリーダーシップを求めていこう！



須高地区総決起集会々場

全国の主要大手組合が春季闘争の山場を迎える中、追従する地協構成単組の団結と情報交換をはかるとともに、本闘争の勝利に向けた意識結集を目的に、北信地連では北信地区労組会議との共催、須高地連では地域の労働団体との共催により「2017 春季生活闘争地区総決起集会」を開催しました。また、各会場へは連合長野の中山会長をはじめ、大勢の来賓にご臨席いただいて激励の挨拶を受けました。

<北信地連>

日 時：2016 年 3 月 8 日（水）午後 6 時 30 分～

会 場：中野市中央公民館（三階講堂）

アピール採択：総決起集会アピール、3.8 国際女性デーアピール

決意表明：富士電機パワーセミコンダクタ労組飯山支部、中部電力

労組飯山営業所支部、農団労中野市労組、飯山市職員労組

ご 来 賓：中山会長、小林東一郎県議、高山恒夫飯山市議

参加規模：労組会議分を含め 21 単組・224 名

<須高地連>

日 時：2016 年 3 月 10 日（金）午後 6 時 15 分～

会 場：須坂市役所多目的広場（野外）

アピール採択：総決起集会アピール、3.8 国際女性デーアピール

決意表明：須坂市職員労組、明治産業労組

ご 来 賓：中山会長、諏訪県労組会議共同代表、野口県労連書記長、須坂市議（宮坂成一、岩田修二、竹内勉、久保田克彦各氏）

参加規模：他団体を含め 12 組合・321 名



挨拶に立つ荻原会長

須高集会は、集会の後 3 梯団・2 コースに分かれてシュプレヒコールを連呼しながら、力強く須坂駅前までデモ行進を行いました。



中山会長、小林県議、高山市議



北信集会

北信集会に参加した構成単組の組合員



決意を述べる富士電機 PSC 労組池田委員長

2017 春季生活闘争北信地区総決起集会アピール

我々は本集会において、中小企業で働く仲間や非正規雇用の仲間をはじめ、すべての働く者の処遇を「底上げ」する決意を改めて確認した。あわせて、賃金・労働諸条件の改善はもとより、社会全体の課題についてわれわれ自身の役割を認識・共有して取り組んでいく決意も確認した。

現在、それぞれの労働組合が月例賃金、とりわけ賃上げ額のみならず賃金水準に拘って、精力的に交渉を進めている。「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」のために、賃上げを継続しなければならない。特に、日本経済の屋台骨である中小企業で働く仲間の処遇改善がなければ、日本経済の成長はおぼつかない。そのためにも、「公正取引の推進」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」を求める取り組みを進める。加えて、非正規労働者の雇用の安定と処遇の改善が、企業の存続と競争力強化には欠かせない。

我々は要求趣旨に沿った回答を引き出すことに全力を挙げ、その成果を社会的に波及させていく。さらに、働く者の「総合生活改善」のためには蔓延する雇用不安と生活不安・将来不安を払拭し、働く者・生活者の立場からの政策実現に全力で取り組む必要がある。そのため

に、春季生活闘争の「運動の両輪」である「政策・制度実現の取り組み」を強力に推進し、労働組合として早急に解決すべき重要課題に取り組み、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、組織の総力をあげた運動を展開する。

また、超少子高齢化・人口減少社会の中、日本経済・社会の持続的な発展をめざすためには、その担い手である労働者一人ひとりが心身ともに充実した状態で意欲と能力を十分に発揮できる環境を整備していく必要がある。「長時間労働の撲滅」「労使協議の定期化」はまさにその環境整備に不可欠なものであり、労働者一人ひとりの自己実現、ハッピーライフの実現に向けて、社会へ強く発信していこう。

2017 春季生活闘争は最初のヤマ場を迎える。労使は社会的責任を果たすため、いよいよ答えを出す時である。すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」をはかるため、総力を結集し、最後の最後までともに闘おう！

2017 年 3 月 8 日

2017 春季生活闘争北信地区総決起集会

2017 年 3 月 10 日

2017 春季生活闘争須高地区総決起集会



挨拶する中山会長と来賓の皆様



集会に参加した構成単組の組合員(1)



集会に参加した構成単組の組合員(2)

「3.8 国際女性デー」アピール

3.8 国際女性デーは、1857 年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け、3 月 8 日に低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたことが起源です。その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。

連合は、1996 年から春季生活闘争の中に、国際女性デーの行動を位置づけ、全国で統一行動を実施しています。2017 春季生活闘争において連合は、『「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！』をスローガンに、すべての働く者の処遇を改善し、底上げ、底支え、格差是正を求めています。同時に職場における男女平等の実現にむけて、男女間賃金格差の是正と男女平等の推進、両立支援の促進として、「育児や介護と仕事の両立にむけた環境整備」と「次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組み」を積極的に推進しています。

今年の連合 2017 春季生活闘争 3.8 国際女性デーは、“すべての人が活躍できる男女平等参画社会を実現しよう！”をテーマに統一行動を行います。政府も様々な女性活躍施策を掲げ、昨年 4 月には「女性活躍推進法」、今年の 1 月には「改正育児・介護休業法」が施行されるなど、男女平等参画に向けた機運が高まりつつあります。しかし、最新の男女間格差を測るジェンダーギャップ指数で、日本は 144 ヶ国中 111 位と、昨年より 10 ポイント順位を下げており、男女間格差は未だ解消されていません。

これらの法律を活用し、ポジティブアクションによる男女間格差の是正と仕事と生活の調和をはかることができる職場環境の整備に取り組むとともに、性別や年齢、雇用形態などを問わず、すべての人が安心して働き、活躍することができる男女平等参画社会を実現しなければなりません。そのためには、すべての職場で労使協議を積み重ね、職場点検の取り組みを推進していくことが必要です。



画：川合 央深さん
(電力総連)

本集會に集まった一人ひとりの「行動」がなければ男女平等社会は実現できません。「男女が対等・平等で人権が尊重され」「すべての人にディーセントワークが保障され」「だれもがワーク・ライフ・バランスを実感でき」「社会のあらゆる分野、とりわけ職場、労働組合における男女平等参画」を実現し、「働くことを軸とする

安心社会」をめざして、ともに大きな声をあげて行動していきましょう。

2017 年 3 月 8 日

2017 春季生活闘争北信地区総決起集会

2017 年 3 月 10 日

2017 春季生活闘争須高地区総決起集会

第 88 回地区メーデーの企画・準備始める

本年度（第 88 回）の北信地区メーデーならびに須高地区メーデーは、各地連より地域の労働団体に対して参加呼び掛けを行い、賛同団体による実行委員会を発足させ、開

催日時・会場、分担金と予算、具体的な準備・運営する専門部の設置等の企画概要を決定し、地区メーデーの活動をスタートしました。

■ 第 88 回北信地区メーデー（企画概要）

開催日時：2017 年 5 月 1 日（日）

午前 8 時 30 分集合（9 時～12 時）

会 場：飯山市交流館“なちゅら”

進行次第：集会⇒市中行進（JR 飯山駅前・飯山駅南・かえで通り・本町・坂上交差点）⇒アトラクション

参加規模：29 単組・団体で 500 名 ※会場の収容人員による

〔実行委員会〕

3 月 16 日に、北信地連より参加を呼び掛けた団体が集まり、参加団体を確認したのち実行委員会を結成しました。第 1 回実行委員会では、第 87 回北信地区メーデー実施案の概要や参加団体の分担金、予算案の概要の説明を行い、全会一致で承認されました。

〔実行委員会役員〕

委員長	戸島 裕司（連合長野・北信地連会長）	委 員	山岸 耕二（北信地区労組会議副議長）
副委員長	藤澤 淳一（北信地区労組会議議長）	〃	芝内 七郎（部落解放同盟中高地区協議議長）
事務局長	丸山 淳市（連合長野・北信地連事務局長）	〃	高橋 洋（部落解放同盟飯山市協会长）
事務局次長	早見 薫（北信地区労組会議事務局次長）	〃	下田 由人（中高地区憲法を守る会会長）
委 員	本間 直幸（連合長野・北信地連副会長）	会計監査	山本 寛（飯水岳北建設労組書記長）
〃	宮坂 裕二（連合長野・北信地連副会長）	〃	久保田文博（北信地区労働者福祉協議会会計監査）

〔専門部〕

専 門 部	人数	部長（部の会計責任者）	部 員 氏 名
統 制 部	6 名	早見 薫（労組会議）	連合北信：宮坂 裕二、池田 文武、鈴木 浩之 労組会議：小田切英市、井本 泰弘
企 画 部	8 名	本間 直幸（連合北信）	連合北信：大裕 純人、笠原 秀和、黒澤 卓也 労組会議：湯本 寿 憲法を守る：下田 由人 解放同盟：芝内 七郎、高橋 洋
文化・会場部	7 名	山岸 耕二（労組会議）	連合北信：中野 建一、土屋 秀樹、小林 直人 労組会議：郡司 道啓、米持 早苗 飯岳建設：山本 寛

〔参加要請人数〕

	単 組 ・ 団 体	人数		単 組 ・ 団 体	人数
1	長野県職員労働組合北信支部	30	16	県農団労ながの農協労働組合みゆき支部	35
2	中野市職員労働組合	30	17	全コシナ関連労働組合	10
3	飯山市職員労働組合	30	18	日本郵政グループ労働組合北信支部	10
4	山ノ内町職員労働組合	20	19	長野電鉄労働組合（北信地区）	10
5	木島平村職員労働組合	5	20	中部電力労働組合飯山支部	8
6	野沢温泉村職員労働組合	5	21	トーエネック労働組合中野分会	2
7	栄村職員労働組合	5	22	林野労働組合北信分会	10
8	北信広域連合職員労働組合	10	23	県労働金庫労働組合中野支部	5
9	中野市社会福祉協議会職員労働組合	5	24	飯水岳北建設労働組合	15
10	山ノ内町社会福祉協議会職員労働組合	5	25	部落解放同盟中高地区協議会	6
11	新光電気労働組合高丘支部	80	26	部落解放同盟飯山市協議会	2
12	しなの富士通労働組合	60	27	中高地区憲法を守る会	2
13	富士電機パワートラック労働組合飯山支部	30	28	国労北信地区協議会	5
14	県農団労中野市労働組合	30	29	県教組下高井支部	30
15	県農団労ながの農協労働組合志賀高原支部	5	合計：29 団体・単組／500 名		

■第 88 回メーデー須高地区大会（企画概要）

開催日時：2017 年 5 月 1 日（月）

大会は午前 10 時（終了 12 時 30 分）

会 場：須坂市百々川緑地公園

進行次第：デモ行進（2 コースの起点より 8 時 50 分出發）

⇒コーラス隊の合唱⇒集会⇒アトラクション

※デモ行進は芝宮・市役所出發の 2 コースです。

参加規模：17 単組・団体で 884 名

〔労働 3 団体合同幹事会〕

2 月 23 日に、労働 3 団体（須高地連、須高地区労連、須

高地区労組会議）の代表が集まり、①統一メーデーの確認、②実行委員会体制、③集会企画の内容、④スローガンその他などについて意見交換し、実行委員会の発足を決定しました。

〔実行委員会〕

4 月 5 日に 3 団体合同幹事会代表の招請により実行委員会を発足させ、第 88 回メーデー須高地区大会実施要綱の確認を主題に、須坂市からの補助金を含む各団体の分担金、予算案の概要の説明を行い、全会一致で承認されました。

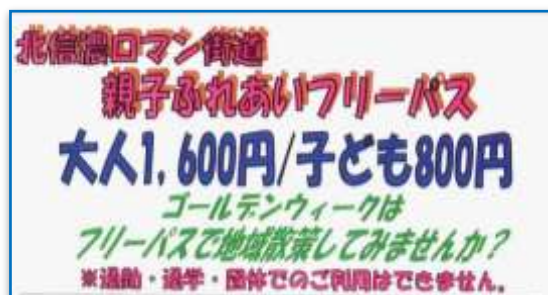
〔実行委員会役員〕

委員長	荻原 公和（連合長野・須高地連会長）	委 員	古川 沙織（高山村職員労組）
副委員長	小川 晃（須高地区労組会議議長）	〃	松崎 喜和（須坂市勤労協）
〃	越 満（須高地区労連議長）	〃	和田 慶基（須高建設労組）
〃	武井 徳夫（須坂市勤労協会会長）	〃	石橋 誠直（須坂北信濃民主商工会）
〃	岩本 淳一（連合長野・須高地連副会長）	〃	牧 京子（新日本婦人の会）
〃	小林 弘幸（連合長野・須高地連副会長）	〃	古川 幸雄（部落解放同盟須坂市協議会）
〃	内田 正道（須高地区労組会議副議長）	〃	榎澤 寿之（連合長野・須高地連幹事）
〃	斎藤 稔（須高地区労連副議長）	〃	松山 淳子（連合長野・須高地連幹事）
〃	米山 弥生（須高地区労連副議長）	〃	塚田 武弘（連合長野・須高地連幹事）
事務局長	富澤 一明（連合長野・須高地連事務局長）	〃	宮本多喜広（連合長野・須高地連幹事）
副事務局長	飯川 慎一（須高地区労組会議副議長）	〃	下崎 大吾（連合長野・須高地連幹事）
〃	高城 浩文（須高地区労連事務局長）	〃	小林 弘幸（連合長野・須高地連幹事）
委 員	原山 豊（日通工エレクトロニクス労組）	〃	山田 勝之（連合長野・須高地連幹事）
〃	水上 寛（長野広域連合労組小布施支部）	〃	有澤 紀子（連合長野・須高地連幹事）
〃	間峰美紀子（長野広域連合労組須坂支部）	〃	宮尾 伸幸（須高地区労組会議幹事）
〃	前澤 宏美（長野県労働金庫労組須坂支部）	〃	小林 幹正（須高地区労組会議幹事）
〃	西村 匡弘（JP 労組北信支部須坂分会）	〃	柳原 一彦（須高地区労組会議幹事）
〃	酒井 茂男（帝国通信工業労組須坂支部）	〃	高橋 大樹（須高地区労連幹事）
〃	篠塚 和典（須坂市消防職員労組）	〃	久保田三和（須高地区労連幹事）

〔参加要請人数〕

	単 組 ・ 団 体	人数		単 組 ・ 団 体	人数
1	長野電鉄労働組合	130	10	ニッター労働組合	20
2	須坂市職員労働組合	75	11	県労働金庫労働組合須坂支部	5
3	県立病院機構労働組合須坂病院支部	25	12	国労須高地区協議会	10
4	鈴木労働組合	200	13	須高地区労連関連団体	150
5	長野県教職員組合上高井支部	30	14	須高建設産業労働組合	23
6	県農団労須高労働組合	60	15	須坂市勤労者協議会	10
7	日通工エレクトロニクス労働組合	50	16	部落解放同盟須坂市協議会	12
8	明治産業労働組合	60	17	須坂市消防職員労働組合	8
9	須坂市社会福祉協議会職員労働組合	16	合計：17 団体・単組／884 名		

<フリーパス券販売のお知らせ>



メーデー開催のイベントとして、本年も「親子ふれあいフリーパス券」の販売を実施します。

※フリーパス券の特典として茶臼山動物園、松代荘、アゼリア飯綱、須坂市動物園等の割引も受けられます。なお、利用される施設が休日の場合がありますので、確認してからお出かけ下さい。（割引は本年 12 月 31 日まで利用できます。ただし、フリーパス実行委員会の印鑑があるものに限りです）

※フリーパス券のお求めは、各労働組合までお願い致します。

■長野電鉄普通電車：連続 2 日間乗り放題

■アルピコ路線バス：4/29～5/5 間乗り放題

フリーパス実行委員会

以上